Aichi FG

東証プライム・名証プレミア（7389）

2027年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社あいちフィナンシャルグループ

2026年11月13日

目次

連結業績・配当	P2
銀行単体決算概要	P3
資金利益・預貸金利回り	P4
預金・貸出金	P5
ソリューション・預かり資産関連手数料	P6
有価証券	P7
与信コストの推移・不良債権	P8
経費・ROE・自己資本比率	P9
業績予想	P10

本資料におけるあいち銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、以下のルールに則り算出した計数を記載しております。

- 2024年上期、2024年9月末までの計数
  旧愛知銀行及び旧中京銀行の計数を合算
- 2025年3月末、2025年9月末、2025年上期の計数
  あいち銀行の計数
- 2025年3月期の計数
  あいち銀行の2024年4月1日から2025年3月31日までの計数と、
  2024年4月1日から2024年12月31日までの旧中京銀行の計数を合算

連結業績・配当

ＦＧ連結　あいち銀行単体

- 連結業績は、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益ともに前年同期比で増益。
- 2027年3月期決算に基づく年間配当は32円と実質増配予想。

あいちFG連結業績

（億円）

	'25年度中間期	'26年度中間期	前年同期比
経常収益	559	779	220
経常利益	142	197	55
親会社株主に帰属する中間純利益	100	180	80

配当の状況（1株当たり配当金）

◆2026年3月期
第2四半期 50円　期末 85円　合計 135円　※普通配当135円

2026年4月1日を効力発生日とする株式分割（1株につき5株の割合）を行っております。
（株式分割後の1株あたり年間配当金は27円相当）

◆2027年3月期
第2四半期 15円　**期末 17円(予想)　合計 32円**　※普通配当32円（増配）
連結業績予想の上方修正を踏まえ、年間配当予想も30円⇒32円に修正

尚、自己株式の取得30億円（上限）と合わせ、総還元性向は36%を予想

株主還元方針（配当政策）

収益基盤の強化に向けた内部留保を確保しつつ株主に対する還元を通して資本効率の向上を図るため、１株につき20円の年間配当を下限とし、自己株式取得についても柔軟に実施していくことを基本方針とします。
具体的には、配当金と自己株式取得合計の総還元性向30%を目処とします。

あいちFG連結損益

（億円）

		'25年度中間期	'26年度中間期	前年同期比
1	連結粗利益	299	279	▲19
2	資金利益	252	304	51
3	役務取引等利益	54	58	3
4	その他業務利益	▲7	▲83	▲75
5	営業経費	219	235	15
6	貸倒引当償却費用	▲15	▲24	▲8
7	一般貸倒引当金繰入額	▲16	▲18	▲2
8	個別貸倒引当金繰入額	2	▲3	▲6
9	偶発損失引当金繰入額	▲1	▲1	0
10	株式等関係損益	30	121	91
11	経常利益	142	197	55
12	特別損益	▲0	63	63
13	税金等調整前中間純利益	142	261	119
14	法人税等合計	41	80	39
15	中間純利益	100	180	80
16	親会社株主に帰属する中間純利益	100	180	80

銀行単体決算概要

ＦＧ連結　あいち銀行単体

	（億円）	‘25年度中間期	’26年度中間期	前年同期比
1	業務粗利益	289	281	▲7
2	コア業務粗利益	299	382	82
3	資金利益	252	❶ 325	72
4	うち貸出金利息	250	320	70
5	うち有価証券利息・配当金	84	142	58
6	うち預金利息	87	138	50
7	役務取引等利益	47	❷ 48	1
8	その他業務利益	▲10	▲92	▲81
9	経費	206	217	11
10	人件費	102	106	3
11	物件費	87	92	4
12	実質業務純益	83	64	▲18
13	コア業務純益	93	164	71
14	一般貸倒引当金繰入額　①	–	–	–
15	業務純益	83	64	▲18
16	うち国債等債券損益	▲9	❸ ▲100	▲90
17	臨時損益	58	128	70
18	うち株式等損益	30	❹ 105	75
19	うち不良債権処理額　②	–	–	–
20	うち貸倒引当金戻入益　③	15	22	7
21	うち偶発損失引当金戻入益　④	1	1	▲0
22	経常利益	141	193	51
23	特別損益	▲0	❺ 64	64
24	法人税等合計	41	72	31
25	中間純利益	100	185	85
26	与信関係費用　①＋②－③－④	▲16	❻ ▲24	▲7

【コア業務純益は93億円⇒164億円と大幅に増加】

❶資金利益325億円（前年同期比＋72億円）

・貸出金利息は70億円増加、有価証券利息配当金は58億円増加

・預金利息は50億円増加

❷役務取引等利益48億円（前年同期比＋1億円）

・預かり資産関連手数料増加等により、役務取引等利益全体では微増

・注力するコンサルティング関連収益は、銀行単体だけでなく、FG全体でも順調に増加

❸国債等債券損益▲100億円（前年同期比▲90億円）

・低利回りの円建て債券（地方債や公社公団債等）を売却したことが主因

❹株式等損益105億円（前年同期比＋75億円）

・政策保有株式の縮減を進める中、株式相場上昇もあり、株式の売却益が増加

❺特別損益64億円（前年同期比＋64億円）

・退職給付信託返還益65億円計上

❻与信関係費用▲24億円（前年同期比▲7億円）

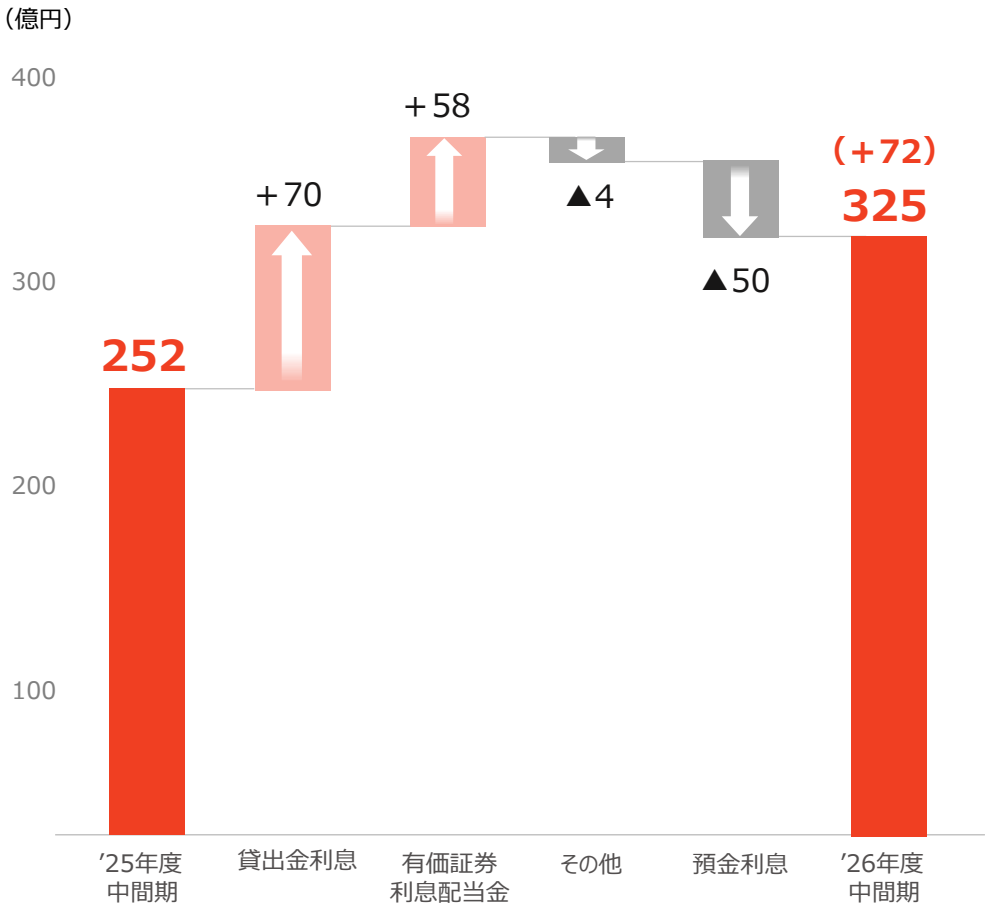
・貸倒実績率の低下や破綻懸念先以下の債権残高減少により、一般貸倒引当金と偶発損失引当金が戻入

資金利益・預貸金利回り

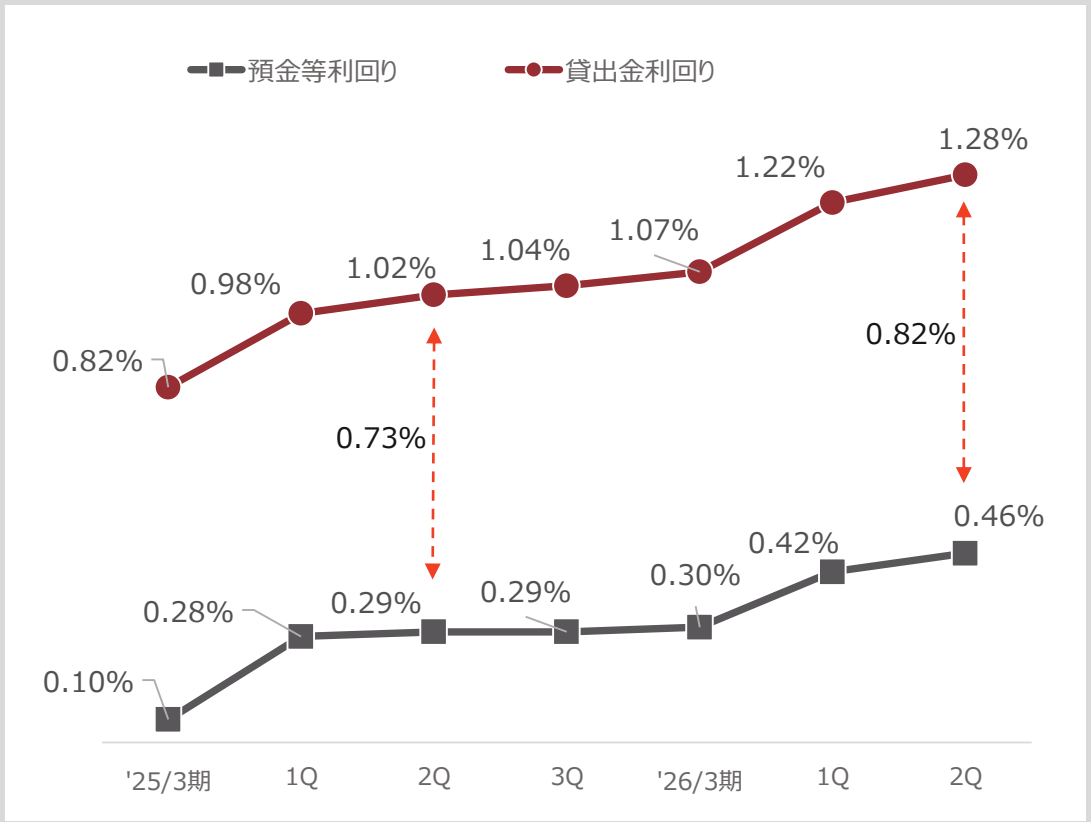
ＦＧ連結　あいち銀行単体

- 金利上昇に伴い預金・貸出金利回りは上昇。
- 金利上昇局面の序盤では預金等利回りの上昇が先行するも、貸出金利回りの上昇も追随してきたことで預貸金利回り差は徐々に拡大。

資金利益72億円増加要因



貸出金利回り・預金等利回り

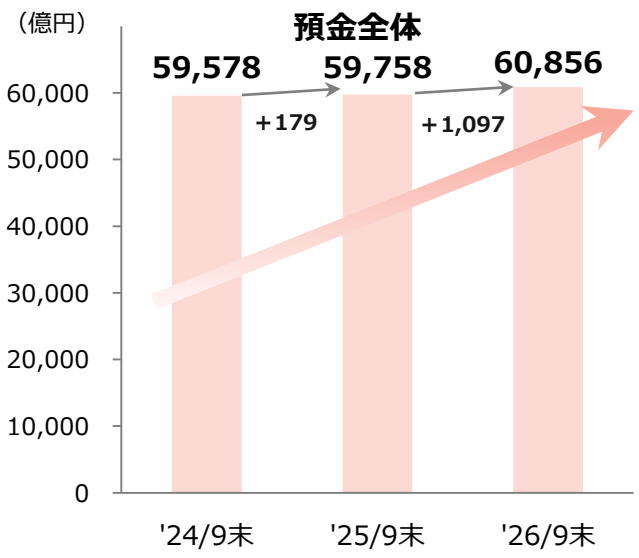


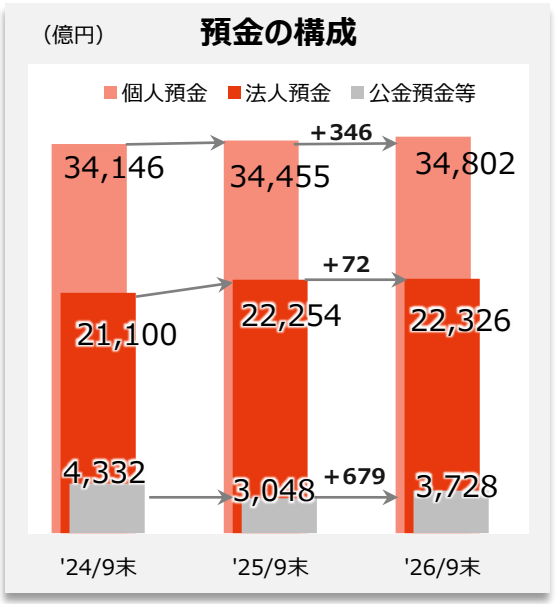
預金・貸出金

ＦＧ連結　あいち銀行単体

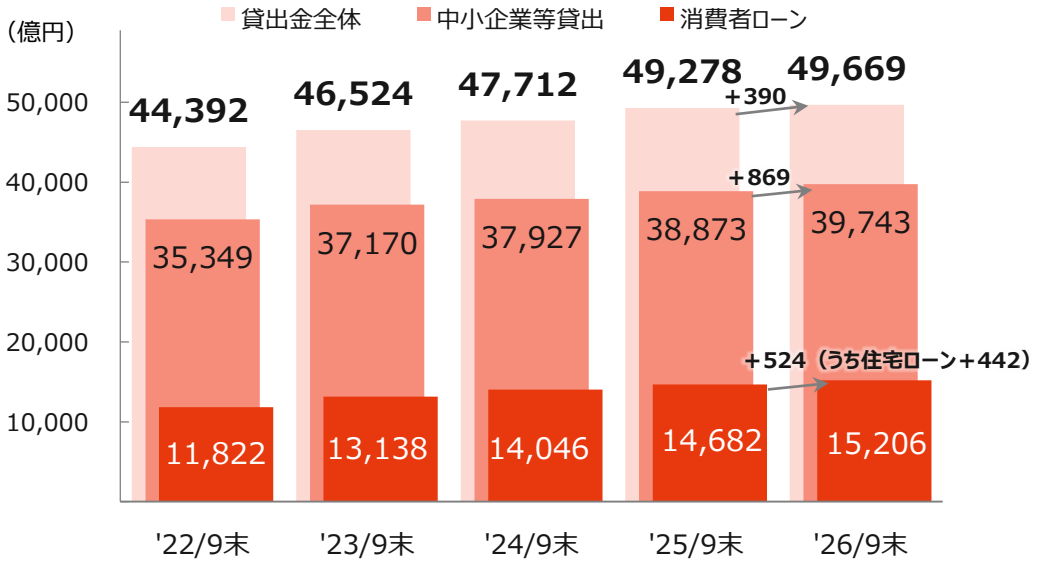
- 個人預金、法人預金ともに増加しており、預金残高は順調に増加。
- 地域の資金需要に応え、中小企業等貸出や住宅ローンを主体に貸出金残高も順調に増加。

預金末残の推移





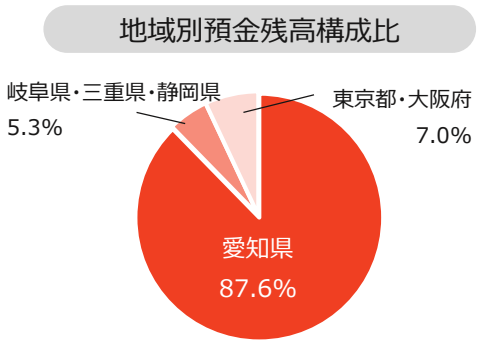
貸出金末残の推移



地域別の預金残高（参考）

（単位：億円）

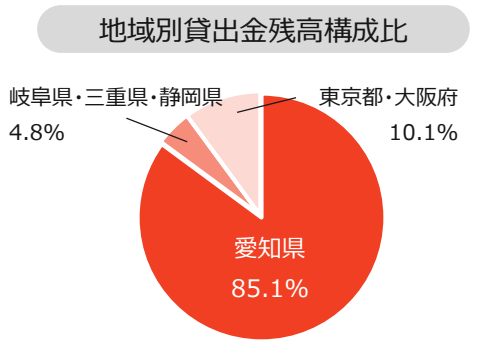
		2026/9末
1	愛知県	53,334
2	岐阜県・三重県・静岡県	3,263
3	東京都・大阪府	4,258
4	合計	60,856



地域別の貸出金残高（参考）

（単位：億円）

		2026/9末
1	愛知県	42,259
2	岐阜県・三重県・静岡県	2,405
3	東京都・大阪府	5,003
4	合計	49,669



ソリューション・預かり資産関連手数料

ＦＧ連結　あいち銀行単体

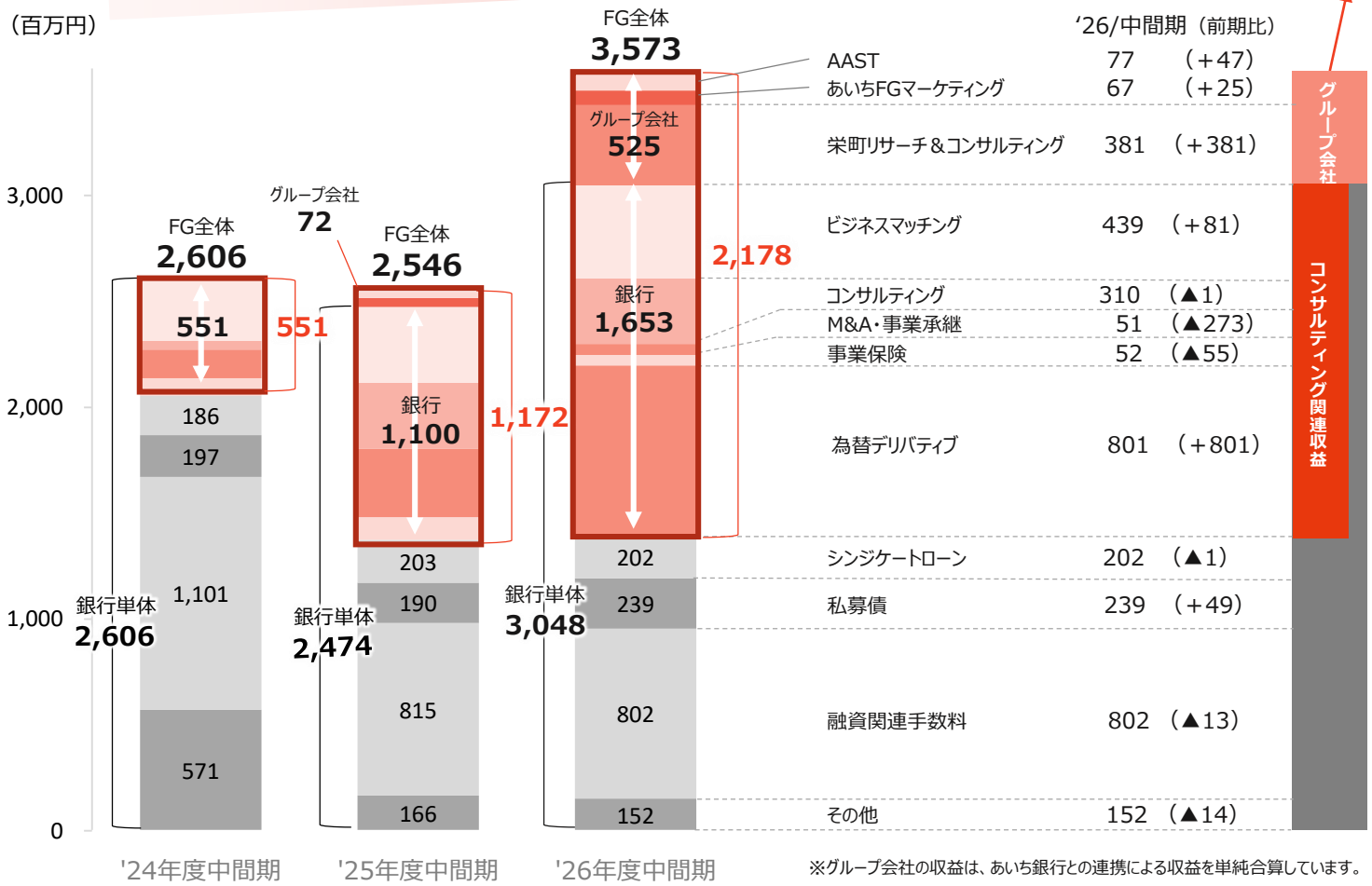
- ソリューション収益の中でも特にコンサルティング関連収益が順調に増加。
- グループ全体でソリューション収益を確保、預かり資産は投信販売が堅調。

あいちFG全体のソリューション収益

コンサルティング・ソリューション型ビジネスモデルの深化

グループとして提供する
ソリューションメニューも順調に増加

2024年4月　AAST グループイン
2024年8月　あいちFGマーケティング設立
2025年10月 栄町リサーチ&コンサルティング発足



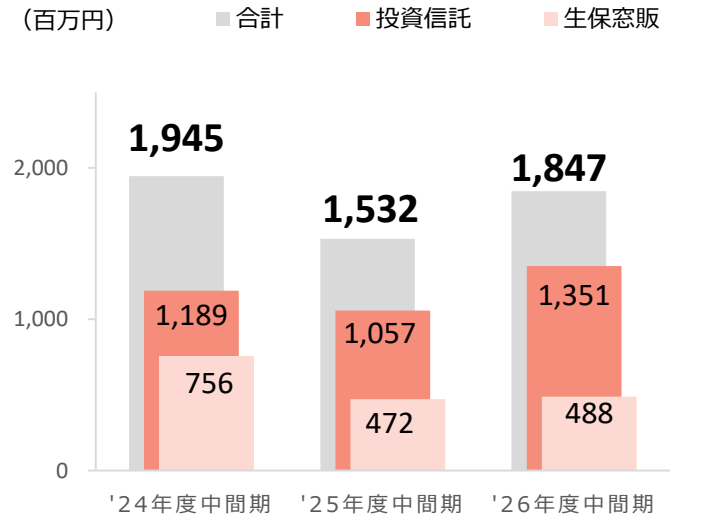
	'26/中間期	（前期比）
AAST	77	（+47）
あいちFGマーケティング	67	（+25）
栄町リサーチ＆コンサルティング	381	（+381）
ビジネスマッチング	439	（+81）
コンサルティング	310	（▲1）
M&A・事業承継	51	（▲273）
事業保険	52	（▲55）
為替デリバティブ	801	（+801）
シンジケートローン	202	（▲1）
私募債	239	（+49）
融資関連手数料	802	（▲13）
その他	152	（▲14）

グループ会社
コンサルティング関連収益

※グループ会社の収益は、あいち銀行との連携による収益を単純合算しています。

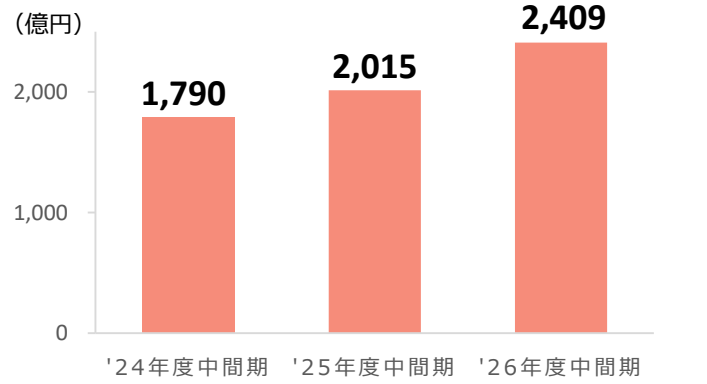
預かり資産関連手数料

あいち銀行



投資信託残高

あいち銀行

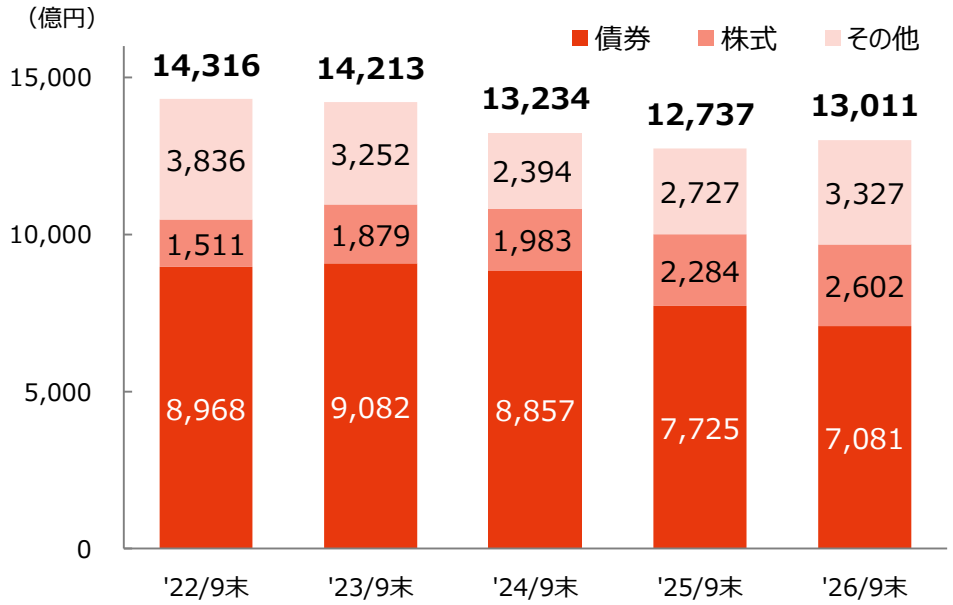


有価証券

ＦＧ連結　あいち銀行単体

- 金利・市場環境を考慮しデュレーションをコントロール。
- 株式の評価益拡大により有価証券全体の評価益は増加。

有価証券残高



デュレーション(年)		'22/9	'23/9	'24/9		'25/9	'26/9
旧愛知銀行	円貨建債券	5.94	5.18	4.17	あいち銀行	3.07	2.28
	外貨建債券	2.57	1.56	1.71		1.98	1.64
旧中京銀行	円貨建債券	5.28	5.17	4.43			
	外貨建債券	4.16	2.17	1.23			

※旧愛知銀行およびあいち銀行のデュレーションはアセットスワップによるヘッジ効果勘案後の数値

有価証券評価損益

（億円）

		'25年度中間期	'26年度中間期	前年同期比
1	**評価損益合計**	**1,189**	**1,639**	**449**
2	株式	1,289	1,592	302
3	債券	▲434	▲544	▲109
4	外国証券	▲0	▲4	▲4
5	その他	336	597	261

＜参考＞2026年9月末のアセットスワップ：想定元本900億円、評価益＋251億円

有価証券関連損益

（億円）

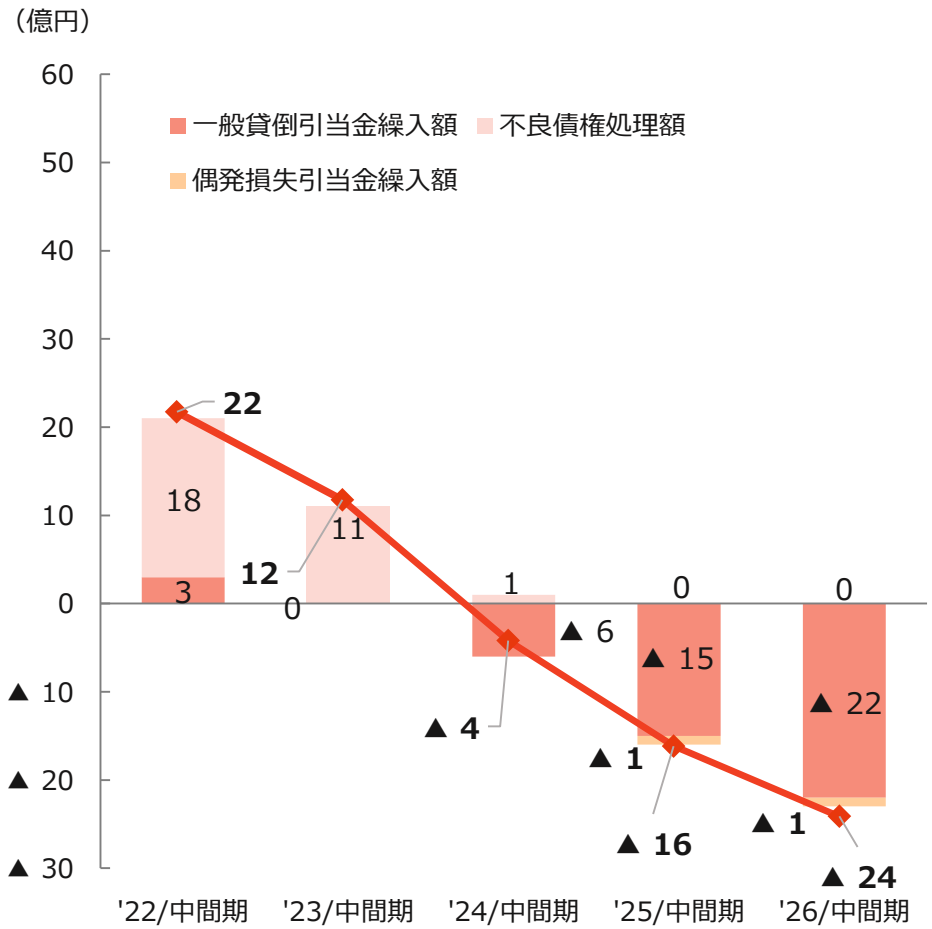
		'25年度中間期	'26年度中間期	前年同期比
1	有価証券利息配当金	84	142	58
2	投信解約損益	0	10	10
3	有価証券関係損益	20	5	▲15
4	国債等債券損益 (債券５勘定尻)	▲9	▲100	▲90
5	株式等損益 (株式３勘定尻)	30	105	75
6	**合計**	**104**	**147**	**43**

与信コストの推移・不良債権

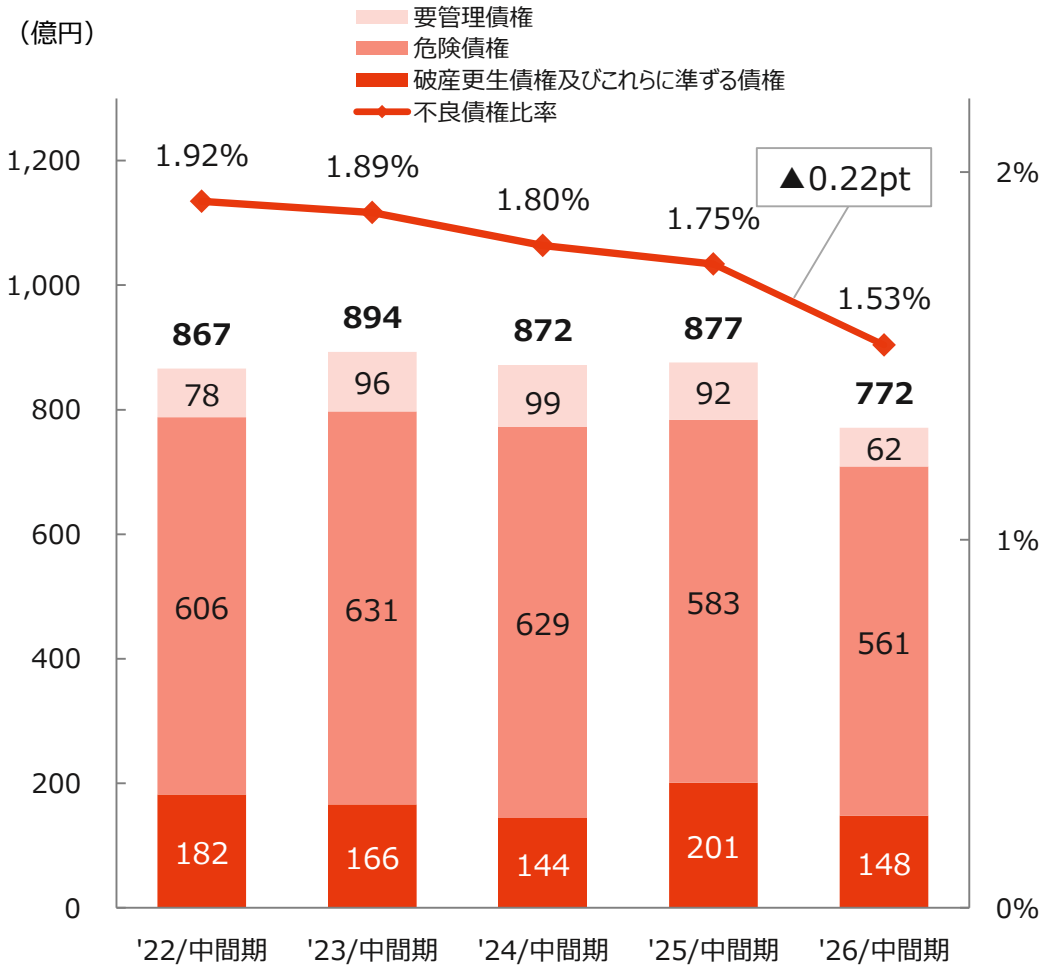
ＦＧ連結　あいち銀行単体

- 貸倒実績率の低下により貸倒引当金戻入益を計上、与信コストは前年同期比で減少。
- 不良債権比率も改善し、資産健全性も上昇。

与信コスト推移



不良債権の状況

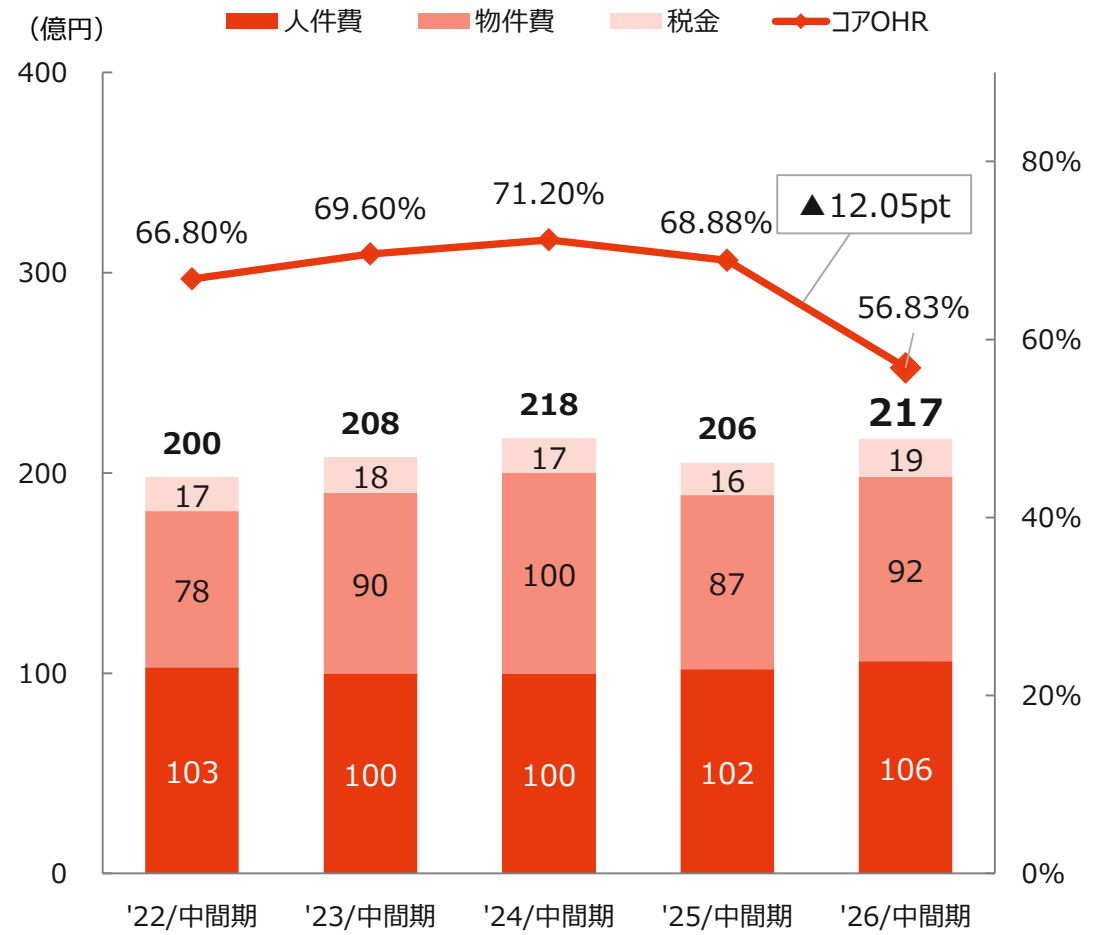


経費・ROE・自己資本比率

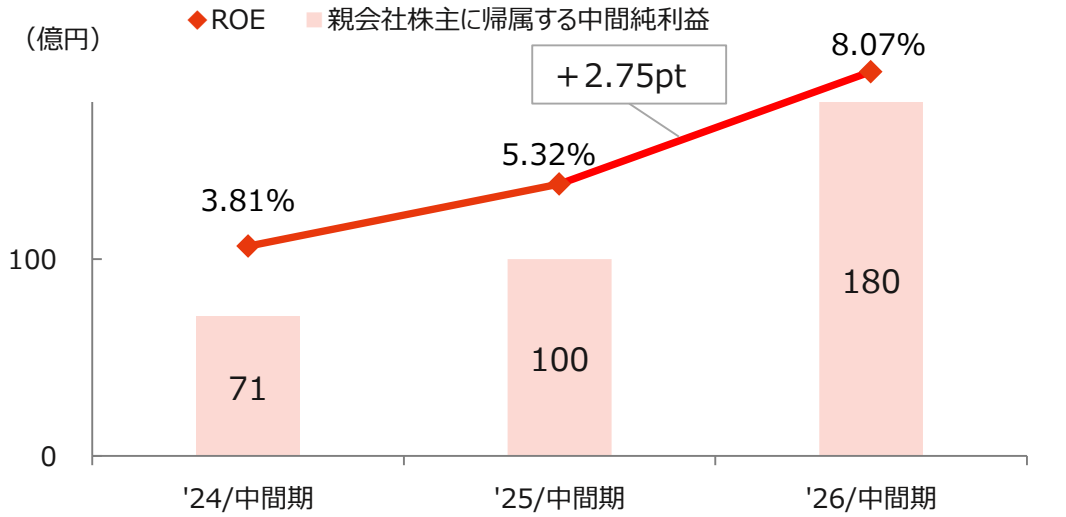
FG連結　あいち銀行単体

- トップラインの増加によりコアOHRは56.83%に低下。
- ROEは上昇し、自己資本比率も上昇。

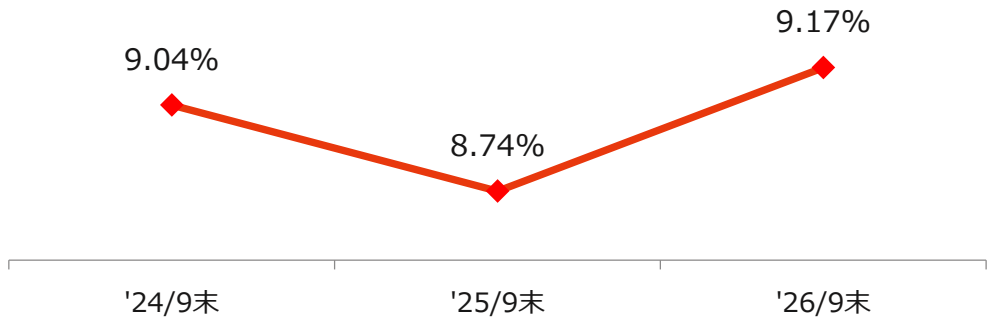
経費・コアOHRの状況（銀行単体）



親会社株主に帰属する中間純利益とROEの状況（FG連結）



自己資本比率の状況（FG連結）



業績予想

ＦＧ連結　あいち銀行単体

- 2027年3月期第2四半期までの業績を踏まえ、通期の業績予想を上方修正。親会社株主に帰属する当期純利益は前年比37%増加の300億円を予想。
- 2027年3月期は、退職給付信託の本体返還に伴う特別利益による約45億円の一過性要因あり。
- FG2次中計最終年度の2028年3月期は、FG連結当期純利益は270億円以上、ROE6.0%以上を目指す。

FG連結

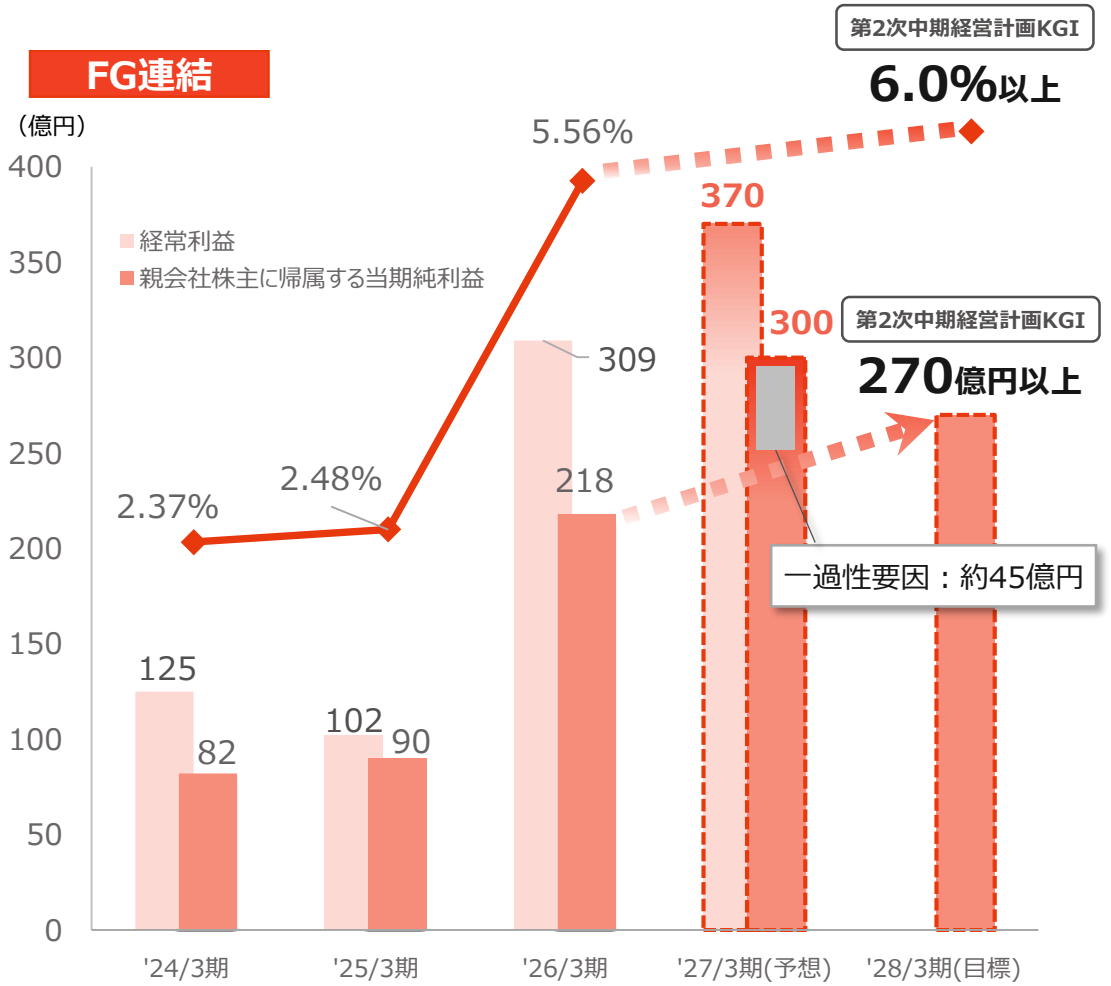
（億円）

		‘26/3期	当初予想	‘27/3期 修正予想	当初予想比	前年比
1	経常利益	309	280	370	90	60
2	親会社株主に帰属する当期純利益	218	230	300	70	81

銀行単体

（億円）

		‘26/3期	当初予想	‘27/3期 修正予想	当初予想比	前年比
1	コア業務純益	207	180	280	100	72
2	経常利益	307	265	360	95	52
3	当期純利益	214	220	300	80	85



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

＜お問合せ先＞
株式会社あいちフィナンシャルグループ　グループ経営企画部
TEL　：　052-262-6512
FAX　：　052-262-6517
URL　：　https://www.aichi-fg.co.jp/